



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月5日

上場会社名 株式会社ジーエス・ユアサ コーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 6674 URL <https://www.gs-yuasa.com/jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 CEO (氏名) 村尾 修
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート室 室長 (氏名) 松島 弘明 TEL 075-312-1211
 四半期報告書提出予定日 2021年11月5日 配当支払開始予定日 2021年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	195,124	13.2	5,226	△1.3	6,569	1.1	2,207	—
2021年3月期第2四半期	172,325	△9.5	5,294	△29.9	6,500	△22.8	121	△97.5

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 6,504百万円 (96.4%) 2021年3月期第2四半期 3,312百万円 (512.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	27.42	—
2021年3月期第2四半期	1.50	—

(参考) のれん等償却前営業利益 2022年3月期第2四半期 6,356百万円 (△1.1%) 2021年3月期第2四半期 6,424百万円 (△26.0%)
 当社は、経営上の重要な指標として、のれん等償却前営業利益を用いております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	439,377	232,689	45.9
2021年3月期	431,913	234,570	46.8

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 201,838百万円 2021年3月期 202,245百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2022年3月期	—	15.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	35.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	440,000	13.8	21,000	△15.4	24,000	△12.0	11,000	△4.0	136.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2021年5月12日に公表しました連結業績予想から通期連結業績予想値を修正いたします。

なお、詳細は、四半期決算短信[添付資料]3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	82,714,942株	2021年3月期	82,714,942株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	2,274,500株	2021年3月期	2,109,320株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	80,510,181株	2021年3月期2Q	80,833,327株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(追加情報)	13
(重要な後発事象)	13
3. 補足情報	14
(1) 四半期損益の推移	14
(2) 2022年3月期 第2四半期連結決算の概要	15

※当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定であります。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定であります。

・2021年11月15日(月).....機関投資家・アナリスト向け第2四半期決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績全般の動向

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、各国の経済対策や新型コロナウイルスのワクチン接種が進んだことにより経済活動の再開が進みましたが、アジア地域の一部の国ではロックダウン等の措置がとられ、また、国内においては緊急事態宣言の発令が続くなど、感染症拡大の懸念はまだ払拭できておりません。加えて、原材料価格上昇、部材不足やコンテナ不足によるサプライチェーンの混乱などもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況の中、当社グループでは、主としてプラグインハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売が回復したことや、海外の自動車電池事業における鉛電池の販売が増加したことに加え為替の円安影響もあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,951億24百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて227億98百万円増加(13.2%)しました。営業利益は、主に原材料価格上昇の影響を受け、52億26百万円(のれん等償却前営業利益は63億56百万円)と前第2四半期連結累計期間に比べて67百万円減少(△1.3%)とほぼ前年並となりました。経常利益は、一部持分法適用関連会社の業績回復に伴う営業外損益の改善により、65億69百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて69百万円増加(1.1%)しました。親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益で負ののれん発生益を計上したことや、前年同期比で減損損失額が減少した影響により、22億7百万円と、前第2四半期連結累計期間に比べて20億85百万円増加しました。

②報告セグメント別の動向

(自動車電池)

国内における売上高は、新車用電池の販売数量は前年同期を上回りましたが、収益認識に関する会計基準等の適用の影響などにより、352億28百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて6億87百万円減少(△1.9%)しました。セグメント損益(のれん等償却前)は、原材料価格上昇の影響により、17億79百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて8億72百万円減少(△32.9%)しました。

海外における売上高は、特に第1四半期にアセアン・欧州を中心に販売数量が増加したことに加え為替の円安影響もあり、875億71百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて95億3百万円増加(12.2%)しました。セグメント損益は、原材料価格に加え、コンテナ不足による物流費の上昇の影響等により、43億30百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて10億12百万円減少(△19.0%)しました。

これにより、国内・海外合算における売上高は、1,228億円と前第2四半期連結累計期間に比べて88億15百万円増加(7.7%)しました。セグメント損益(のれん等償却前)は、61億9百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて18億85百万円減少(△23.6%)しました。

(産業電池電源)

売上高は、大型風力発電用リチウムイオン電池の販売増加や、㈱GSユアサ インフラシステムズを連結化した影響により460億3百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて104億74百万円増加(29.5%)しました。セグメント損益は、原材料価格の上昇や販売構成の変化により、1億60百万円の損失と前第2四半期連結累計期間に比べて3億23百万円悪化しました。

(車載用リチウムイオン電池)

売上高は、ハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売が増加したことに加え、前年度に販売が減少していたプラグインハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売が回復し、184億2百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて42億55百万円増加(30.1%)しました。セグメント損益は、売上高増加の影響により、1億74百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて20億30百万円改善しました。

(その他)

売上高は、79億19百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて7億47百万円減少(△8.6%)しました。全社費用等調整後のセグメント損益は2億32百万円と前第2四半期連結累計期間に比べて1億10百万円増加(90.5%)しました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、回収による売上債権の減少があったものの、棚卸資産の増加や㈱GSユアサ インフラシステムズの新規連結に伴い、4,393億77百万円と前連結会計年度末に比べて74億63百万円増加いたしました。

負債は、サステナビリティ・リンク・ローンによる長期借入の実施や㈱GSユアサ インフラシステムズの新規連結により、2,066億88百万円と前連結会計年度末に比べて93億45百万円増加いたしました。

純資産は、配当金の支払や自己株式の取得により、2,326億89百万円と前連結会計年度末に比べて18億81百万円減少いたしました。

【キャッシュ・フローの状況】

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は271億18百万円と前連結会計年度末に比べて86億88百万円減少(△24.3%)しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産の増加、法人税等の支払がありました。税金等調整前四半期純利益や減価償却費、売上債権の減少などにより、61億12百万円のプラス(前年同期は126億23百万円のプラス)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として有形固定資産の取得などにより、168億50百万円のマイナス(前年同期は89億71百万円のマイナス)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払がありました。借入金の増加などにより、18億9百万円のプラス(前年同期は38億4百万円のマイナス)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最新の動向を受け、2021年5月12日に公表いたしました連結業績予想を修正します。売上高は、半導体不足による影響を受けますものの、為替の円安効果もあり増加する見込みです。これに対し、利益については、主として主原料である鉛を含めた原材料価格高騰の影響を受け、減益となる見込みです。

なお、配当予想につきましては、5月12日公表の予想(中間配当15円、期末配当35円)から変更はありません。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想	百万円 430,000	百万円 24,000	百万円 26,000	百万円 12,000	円 銭 148.66
今回発表予想	440,000	21,000	24,000	11,000	136.63
増減額	10,000	△3,000	△2,000	△1,000	—
増減率(%)	2.3	△12.5	△7.7	△8.3	—
前期実績	386,511	24,810	27,279	11,455	141.91

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2021年3月31日	当第2四半期連結会計期間 2021年9月30日
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,280	27,376
受取手形及び売掛金	74,269	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	68,694
電子記録債権	5,039	6,206
商品及び製品	37,236	45,146
仕掛品	14,973	19,803
原材料及び貯蔵品	15,658	17,440
その他	11,189	12,663
貸倒引当金	△315	△271
流動資産合計	194,332	197,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	52,837	51,626
機械装置及び運搬具（純額）	38,703	38,080
土地	22,737	22,779
リース資産（純額）	296	280
使用権資産（純額）	5,075	4,902
建設仮勘定	9,699	14,553
その他（純額）	5,180	5,055
有形固定資産合計	134,530	137,278
無形固定資産		
のれん	659	—
リース資産	1,078	952
その他	2,681	2,133
無形固定資産合計	4,419	3,085
投資その他の資産		
投資有価証券	64,349	68,070
退職給付に係る資産	23,920	24,784
繰延税金資産	3,497	2,553
リース債権	2,616	2,326
その他	4,517	4,495
貸倒引当金	△323	△323
投資その他の資産合計	98,578	101,906
固定資産合計	237,528	242,271
繰延資産	52	46
資産合計	431,913	439,377

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2021年3月31日	当第2四半期連結会計期間 2021年9月30日
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,742	36,401
電子記録債務	16,367	17,416
短期借入金	13,440	13,182
未払金	15,976	13,419
未払法人税等	4,761	2,918
設備関係支払手形	358	242
設備関係電子記録債務	3,270	1,740
その他	18,922	22,575
流動負債合計	107,839	107,897
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	31,980	42,725
リース債務	6,041	5,480
繰延税金負債	18,045	16,849
再評価に係る繰延税金負債	928	928
退職給付に係る負債	4,562	4,562
その他	7,944	8,245
固定負債合計	89,503	98,790
負債合計	197,342	206,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,021	33,021
資本剰余金	55,301	55,301
利益剰余金	95,869	93,399
自己株式	△4,654	△5,150
株主資本合計	179,537	176,571
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,171	18,272
繰延ヘッジ損益	△115	△103
土地再評価差額金	2,137	2,137
為替換算調整勘定	417	1,694
退職給付に係る調整累計額	3,098	3,266
その他の包括利益累計額合計	22,708	25,266
非支配株主持分	32,324	30,850
純資産合計	234,570	232,689
負債純資産合計	431,913	439,377

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日
売上高	172,325	195,124
売上原価	132,925	152,788
売上総利益	39,400	42,335
販売費及び一般管理費	34,105	37,108
営業利益	5,294	5,226
営業外収益		
受取利息及び配当金	375	421
持分法による投資利益	1,119	1,528
為替差益	205	—
その他	394	320
営業外収益合計	2,094	2,270
営業外費用		
支払利息	382	441
為替差損	—	138
その他	506	347
営業外費用合計	889	928
経常利益	6,500	6,569
特別利益		
固定資産売却益	21	498
投資有価証券売却益	1	34
負ののれん発生益	—	989
特別利益合計	22	1,523
特別損失		
固定資産除却損	312	153
固定資産売却損	4	24
減損損失	2,760	518
投資有価証券評価損	15	—
工場移転費用	—	964
特別損失合計	3,092	1,661
税金等調整前四半期純利益	3,430	6,430
法人税等	3,282	2,059
四半期純利益	147	4,371
非支配株主に帰属する四半期純利益	26	2,164
親会社株主に帰属する四半期純利益	121	2,207

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日
四半期純利益	147	4,371
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,577	1,076
繰延ヘッジ損益	139	22
為替換算調整勘定	1,647	△287
退職給付に係る調整額	461	167
持分法適用会社に対する持分相当額	△661	1,153
その他の包括利益合計	3,164	2,133
四半期包括利益	3,312	6,504
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,592	4,765
非支配株主に係る四半期包括利益	719	1,738

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,430	6,430
減価償却費	9,158	9,277
減損損失	2,760	518
のれん償却額	676	659
投資有価証券評価損益 (△は益)	15	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△34
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△69	△71
退職給付に係る資産負債の増減額	△1,078	△327
受取利息及び受取配当金	△375	△421
支払利息	382	441
為替差損益 (△は益)	△308	△301
固定資産売却損益 (△は益)	△17	△474
固定資産除却損	312	153
負ののれん発生益	—	△989
工場移転費用	—	964
持分法による投資損益 (△は益)	△1,119	△1,528
売上債権の増減額 (△は増加)	12,929	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	—	8,539
前受金の増減額 (△は減少)	△3,906	—
契約負債の増減額 (△は減少)	—	128
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,915	△11,935
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,300	△246
その他	△1,259	169
小計	16,313	10,952
利息及び配当金の受取額	970	1,241
利息の支払額	△382	△441
工場移転費用の支払額	—	△428
法人税等の支払額	△4,278	△5,211
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,623	6,112
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,828	△14,302
有形固定資産の売却による収入	30	536
無形固定資産の取得による支出	△32	△76
投資有価証券の取得による支出	△1	△152
投資有価証券の売却による収入	19	44
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△2,825
関係会社株式の取得による支出	△600	—
貸付けによる支出	△738	△5
貸付金の回収による収入	2	49
その他	175	△118
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,971	△16,850

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及び商業・ペーパーの増減額 (△は減少)	△1,508	1,517
長期借入れによる収入	5,295	11,596
長期借入金の返済による支出	△1,092	△2,727
自己株式の取得による支出	△1,001	△502
自己株式の処分による収入	29	6
配当金の支払額	△2,842	△4,033
非支配株主への配当金の支払額	△2,088	△3,248
その他	△596	△798
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,804	1,809
現金及び現金同等物に係る換算差額	107	239
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△45	△8,688
現金及び現金同等物の期首残高	24,748	35,807
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,705	27,118

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は2021年3月23日開催の取締役会決議に基づき、自己株式167,000株の取得を行っております。これを含む自己株式の取得及び処分の結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が495百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が5,150百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、据付工事を必要とする製品について、従来、一部の連結子会社では据付工事が完了した時点で売上を計上しておりましたが、製品の納入と据付工事が別個の履行義務として識別されるものについては各履行義務が充足された時点で収益を認識しております。また、値引等について、従来は、金額確定時に売上高から控除しておりましたが、変動対価に関する不確実性がその後解消される際に、認識した収益の累計額の著しい減額が発生しない可能性が高い範囲でのみ、取引価格に反映する方法に変更しております。さらに、販売費及び一般管理費並びに営業外費用に表示しておりました顧客に支払われる販売促進費及び売上割引等を、売上高から控除して表示しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は747百万円減少し、売上原価は334百万円増加し、販売費及び一般管理費は859百万円減少し、営業利益は223百万円減少し、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ179百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は643百万円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。また、前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「売上債権の増減額(△は増加)」は、当第2四半期連結累計期間より「売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)」に含めて表示し、「前受金の増減額(△は減少)」は、当第2四半期連結累計期間より「契約負債の増減額(△は減少)」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。

なお、四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車電池			産業電池 電源	車載用 リチウム イオン電池	計		
	国内	海外	小計					
売上高								
外部顧客への売上高	35,915	78,068	113,984	35,528	14,146	163,659	8,666	172,325
セグメント間の内部 売上高又は振替高	569	1,413	1,983	5,778	4,450	12,212	△12,212	—
計	36,485	79,481	115,967	41,306	18,597	175,871	△3,545	172,325
セグメント利益又は損失 (△)	2,652	5,342	7,994	163	△1,855	6,302	122	6,424

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、特殊電池事業等を含んでおります。セグメント利益又は損失(△)の調整額は△1,010百万円であり、セグメント間取引消去△560百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△449百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 上表のセグメント利益又は損失(△)の合計額と連結損益計算書上の営業利益5,294百万円との差は、のれん等の償却費1,129百万円であります。のれん等には、企業結合日において識別可能資産として受け入れた無形固定資産を含んでおります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「車載用リチウムイオン電池」セグメントにおいて、連結子会社が所有する生産設備等の収益性の低下により、所有している固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において2,760百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車電池			産業電池 電源	車載用 リチウム イオン電池	計		
	国内	海外	小計					
売上高								
外部顧客への売上高	35,228	87,571	122,800	46,003	18,402	187,205	7,919	195,124
セグメント間の内部 売上高又は振替高	619	1,566	2,185	6,833	7,440	16,459	△16,459	—
計	35,847	89,137	124,985	52,836	25,842	203,665	△8,540	195,124
セグメント利益又は損失 (△)	1,779	4,330	6,109	△160	174	6,124	232	6,356

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、特殊電池事業等を含んでおります。セグメント利益又は損失(△)の調整額は△515百万円であり、セグメント間取引消去△50百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△464百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. 上表のセグメント利益又は損失(△)の合計額と連結損益計算書上の営業利益5,226百万円との差は、のれん等の償却費1,129百万円であります。のれん等には、企業結合日において識別可能資産として受け入れた無形固定資産を含んでおります。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「自動車電池国内」セグメント、「産業電池電源」セグメント及び「その他」セグメントにおいて、小田原事業所撤収の意思決定に伴い、連結子会社が所有している固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において「自動車電池国内」セグメント104百万円、「産業電池電源」セグメント10百万円及び「その他」セグメント403百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

「産業電池電源」セグメントにおいて、サンケン電設(株)(2021年5月1日付で(株)GSユアサ インフラシステムズへ社名変更)の株式を取得し連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を認識しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては989百万円であります。なお、取得原価の配分が完了していないため、上記の金額は暫定的に算定された金額であります。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(2020年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

当第2四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症による当社グループの事業への影響に関する会計上の見積り等に用いた仮定については、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した内容から重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の消却)

当社は、2021年11月5日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を行うことを決議いたしました。

1. 自己株式の消却を行う理由

中長期的な株主価値の向上を図るため。

2. 自己株式の消却の内容

- | | |
|---------------|-------------------------------------|
| (1) 消却する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 消却する株式の数 | 2,115,500株(消却前の発行済株式総数に対する割合 2.56%) |
| (3) 消却予定日 | 2021年11月30日 |

3. 補足情報

(1) 四半期損益の推移

2022年3月期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2021/4-6)	②第2四半期 (2021/7-9)	③第3四半期 (2021/10-12)	④第4四半期 (2022/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	95,458	99,666	—	—	195,124	—	—
営業利益	3,210	2,016	—	—	5,226	—	—
経常利益	4,268	2,301	—	—	6,569	—	—
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	2,681	△473	—	—	2,207	—	—

2021年3月期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2020/4-6)	②第2四半期 (2020/7-9)	③第3四半期 (2020/10-12)	④第4四半期 (2021/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	76,376	95,949	105,691	108,494	172,325	278,016	386,511
営業利益	1,002	4,292	9,089	10,426	5,294	14,383	24,810
経常利益	1,699	4,800	10,123	10,655	6,500	16,623	27,279
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	△27	149	5,546	5,787	121	5,667	11,455

2020年3月期(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2019/4-6)	②第2四半期 (2019/7-9)	③第3四半期 (2019/10-12)	④第4四半期 (2020/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	90,082	100,331	102,662	102,476	190,414	293,077	395,553
営業利益	2,040	5,508	6,872	7,254	7,549	14,421	21,676
経常利益	2,873	5,551	7,499	7,185	8,424	15,924	23,109
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,473	3,300	4,430	4,469	4,774	9,204	13,674

2019年3月期(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2018/4-6)	②第2四半期 (2018/7-9)	③第3四半期 (2018/10-12)	④第4四半期 (2019/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	96,256	99,158	110,230	107,442	195,415	305,646	413,089
営業利益	2,917	4,038	7,358	8,339	6,956	14,315	22,654
経常利益	3,165	4,327	8,308	8,927	7,492	15,800	24,728
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,430	2,023	6,636	3,433	3,454	10,090	13,524

2018年3月期(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	①第1四半期 (2017/4-6)	②第2四半期 (2017/7-9)	③第3四半期 (2017/10-12)	④第4四半期 (2018/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	87,805	96,402	112,776	113,966	184,208	296,984	410,951
営業利益	2,876	3,109	7,734	8,198	5,986	13,721	21,920
経常利益	3,273	3,174	7,763	7,176	6,447	14,210	21,387
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,254	1,295	3,668	5,231	2,549	6,218	11,449

(2)2022年3月期 第2四半期連結決算の概要

行番			第2四半期連結累計期間			増減 ② - ①	通期		
			2019年 9月期	2020年 9月期 ①	2021年 9月期 ②		2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期 (予想)
1	売上高	百万円	190,414	172,325	195,124	22,798	395,553	386,511	440,000
2	自動車電池国内	百万円	40,891	35,915	35,228	△ 687	88,059	83,639	82,000
3	自動車電池海外	百万円	81,728	78,068	87,571	9,503	162,138	165,296	184,000
4	産業電池電源	百万円	37,621	35,528	46,003	10,474	84,566	84,037	103,000
5	車載用リチウムイオン電池	百万円	21,397	14,146	18,402	4,255	42,264	35,950	53,000
6	その他	百万円	8,775	8,666	7,919	△ 747	18,525	17,587	18,000
7	営業利益	百万円	7,549	5,294	5,226	△ 67	21,676	24,810	21,000
8	のれん等償却前営業利益	百万円	8,678	6,424	6,356	△ 67	23,935	27,069	22,000
9	自動車電池国内	百万円	2,080	2,652	1,779	△ 872	6,976	8,669	5,000
10	自動車電池海外	百万円	4,920	5,342	4,330	△ 1,012	9,187	12,225	9,000
11	産業電池電源	百万円	2,322	163	△ 160	△ 323	9,157	6,890	6,500
12	車載用リチウムイオン電池	百万円	△ 733	△ 1,855	174	2,030	△ 1,708	△ 852	2,000
13	その他	百万円	89	122	232	110	322	136	△ 500
14	経常利益	百万円	8,424	6,500	6,569	69	23,109	27,279	24,000
15	親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	百万円	4,774	121	2,207	2,085	13,674	11,455	11,000
16	のれん等償却前親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	百万円	5,902	1,220	3,195	1,974	15,925	13,538	12,000
17	1株当たり四半期(当期)純利益	円	58.63	1.50	27.42	25.92	168.23	141.91	136.63
18	1株当たり中間(年間)配当額	円	15.00	0.00	15.00	15.00	50.00	50.00	50.00
19	自己株式買入額(次年度予定額)	百万円	—	—	—	—	1,499	—	—
20	総還元性向(のれん等償却前純利益)	%	—	—	—	—	34.90	29.80	—
21	設備投資	百万円	8,638	8,825	13,315	4,490	18,220	23,159	35,000
22	減価償却費	百万円	7,879	8,259	8,347	88	15,979	16,210	18,000
23	研究開発費	百万円	4,782	5,077	6,051	973	9,517	11,201	12,000
24	営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	15,055	12,623	6,112	△ 6,510	33,119	35,817	—
25	投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	△ 8,612	△ 8,971	△ 16,850	△ 7,878	△ 20,690	△ 19,327	—
26	財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	△ 5,155	△ 3,804	1,809	5,614	△ 10,245	△ 7,018	—
27	現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	百万円	24,656	24,705	27,118	★ △ 8,688	24,748	35,807	—
28	総資産	百万円	383,913	378,223	439,377	★ 7,463	385,416	431,913	—
29	純資産	百万円	202,220	202,803	232,689	★ △ 1,881	205,318	234,570	—
30	借入金総額	百万円	67,294	67,418	75,907	★ 10,486	64,548	65,420	—
31	自己資本比率	%	45.2	46.3	45.9	★ △ 0.9	45.8	46.8	—
32	自己資本当期純利益率(のれん等償却前純利益)	%	—	—	—	—	9.0	7.2	—
33	1株当たり純資産	円	2,140.89	2,173.41	2,509.17	★ 0.09	2,173.37	2,509.08	—
34	海外売上高比率	%	49.1	49.7	49.2	★ 1.9	46.2	47.4	—
35	グループ期末従業員数	人	14,417	13,600	13,553	★ 248	13,542	13,305	—
36	連結子会社数	社	54	54	54	★ —	54	54	—
37	国内	社	22	22	22	★ —	22	22	—
38	海外	社	32	32	32	★ —	32	32	—

★は対前期末(2021年3月期)増減